

教科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年（全クラス）
使用教科書	帝国書院 『高等学校 新地理総合』 帝国書院『標準高等地図』				
副教材等	帝国書院 『高等学校新地理総合ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ① 主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。
- ② 生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。
- ③ 国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ① 共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。
- ② 工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。
- ③ 将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 教科書にでている基本的な用語の理解を重視し、基本的な知識の習得を目指します。
- ② 基本的な知識を踏まえたうえで、現代世界や諸国の実態がどうなっているかを考察できる力が身につくことを目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
・ 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	・ 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	・ 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

5 評価方法

面 評	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c

	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト ・定期考査 ・課題の内容・提出状況 などから評価します。	以上の観点を踏まえ ・小テスト ・定期考査 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・課題の内容・提出状況 などから評価します	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・課題の内容・提出状況 などから評価します。
--	---	--	---

6 学習計画

月	単元名	授業 時数	教材名	学習活動（指導内容）	評価の 観点	評価方法
4	第1部 第1章1節	3	○地球上の位置と時差	・地球上の位置と私たちの生活について学ぶ。 ・時差と私たちの生活について学ぶ。 ・時差の計算をする。	a b c a	課題 授業の取組 授業の取組 ワークシート
	第1章2節	3	○地図の役割と種類	・地図の役割と種類について学ぶ。 ・様々な地図（地形図等）の利用法について学ぶ。 ・GISを活用してみる。	a b c a c a c	課題 授業の取組 ワークシート ワークシート
5	第2章1節	3	○現代世界の国家と領域	・現代世界の国家と領域について学ぶ。	a b c	課題 授業の取組
	第2章2節	3	○グローバル化する世界	・グローバル化する世界について学ぶ。 ・統計資料をグラフ化してみる。	a c	ワークシート
	定期考査	1			a b	
6	第1章序説	1	○生活文化の多様性	・生活文化の多様性について学ぶ。	a b c	課題 授業の取組
	第1章1節	4	○世界の地形と人々の生活	・世界の地形と人々の生活について学ぶ。 ・地形図・空中写真の利用について学ぶ。	a b c a c	課題 授業の取組 ワークシート
7	第1章2節	4	○世界の気候と人々の生活	・世界の気候と人々の生活について学ぶ。 ・雨温図・ハイスーグラフの見方について学ぶ ・写真の読み取り方について学ぶ	a b c a c a c	課題・小テスト 授業の取組 ワークシート ワークシート
	第1章3節	3	○世界の言語・宗教と人々の生活	・世界の言語・宗教と人々の生活について学ぶ。	a b c	課題 授業の取組
	定期考査	1			a b	
	第1章4節	7	○歴史的背景と人々の生活	・ラテンアメリカ、サハラ以南のアフリカ、ロシアなどの歴史的背景と人々の生活について学ぶ。	a b c	課題・小テスト 授業の取組
10	第1章5節	7	○世界の産業と人々の生活	・アメリカ合衆国、東アジア、ヨーロッパなどの世界の産業について学ぶ。	a b c	課題・小テスト 授業の取組
	定期考査	1			a b	
11	第2章1節	1	○複雑に絡み合う地球課題	・複雑に絡み合う地球的課題について学ぶ。	a b c	課題 授業の取組
	第2章2節	3	○地球環境問題	・地球温暖化を中心に地球環境問題について学ぶ。 ・地球環境問題についてグループワークを行う。		ワークシート
	第2章3節	3	○資源・エネルギー問題	・世界のエネルギー・鉱産資源について学ぶ。	a b c	課題 授業の取組
12	第2章4節	2	○人口問題	・地域で異なる人口問題と、その取り組みについて学ぶ。		
	第2章5節	2	○食料問題	・地域で異なる食料問題と、その取り組みについて学ぶ。		
	第2章6節	2	○都市・居住問題	・世界の都市・居住空間について学ぶ。 ・関係図によるまとめ方を学ぶ	a c	ワークシート
	定期考査	1			a b	
1	第3部 第1章1節	1	○日本の自然環境	・日本の地形と気候について学ぶ。	a b c	課題 授業の取組
	第1章2節	2	○地震・津波と防災	・地震・津波と防災について学ぶ。 ・ハザードマップの見方を学ぶ。	a c	ワークシート
	第1章3節	1	○火山災害と防災	・火山の恵みと災害、火山と共生する地域の取り組みについて学ぶ。	a b c	課題 授業の取組
	第1章4節	1	○気象災害と防災	・さまざまな気象災害と、その取り組みについて学ぶ。	a b c	課題 授業の取組
	第1章5節	2	○自然災害への備え	・減災の取り組み、被災地への支援について学ぶ。 ・防災ゲーム「クロスロード」を活用する。 ・災害発生時の行動計画の立て方を学ぶ。	a b c a c	課題 授業の取組 ワークシート
2 ・ 3	第2章	7	○生活圏の調査と地域の展望	・地理的な課題と地域調査について学ぶ。 ・新旧地形図の比較、ポスターセッションについて学ぶ。 ・現地調査の準備をする。 ・現地調査を実施する。 ・調査の分析と発表をする。	a b c a b c a b c a c b c	課題 授業の取組 授業の取組 ワークシート 授業の取組 ワークシート 発表の様子
	定期考査	1			a b	

計 70 時間(50 分授業)

7 課題・提出物等

・ 定期考査ごとにノート・ワークの提出があります。 ・ 長期休業中の課題は別途指示します。
--

8 担当者からの一言

1年生でやる地理総合は、中学校で学んだことがらが基本になるので、もう一度中学校で学んだ地理の内容を復習しながら、授業に臨むとよいでしょう。また、普段から世界の国々についてのテレビや新聞、インターネットのニュースに関心を持つことも大事です。